

◎九州総合通信局長表彰

電波の日表彰受賞者（1個人・15団体）

福迫 武 様

（国立大学法人熊本大学大学院先端科学研究部 教授）

「400MHz帯デジタル簡易無線局の帯域拡張及び高度化のあり方に関する調査検討会」座長として、将来の周波数逼迫対策及び中継動作の利用に関する技術的条件をまとめるなど、電波技術の普及・発展に多大な貢献をされました。

独立行政法人国立高等専門学校機構佐世保工業高等専門学校 様

（代表：校長 中島 寛）

高専ワイヤレスIoTコンテスト2020及び2021において地域課題解決のため、斬新なアイデアにより全国で最も優れた成果を収められ、将来のワイヤレス人材の育成に多大な貢献をされました。

福岡県警察本部 生活安全部 様

（代表：部長 梶原 浩二）

不法無線局の取締強化にあたり当局との連携をとおり県内の警察署を積極的に指導し、被疑者摘発につなげるなど、安心・安全な電波利用秩序の維持に多大な貢献をされました。

日本放送協会熊本放送局 様

（代表：局長 渡邊 和明）

株式会社熊本放送 様

（代表：代表取締役社長 上野 淳）

株式会社エフエム熊本 様

（代表：代表取締役社長 荒木 正博）

株式会社熊本シティエフエム 様

（代表：代表取締役社長 松本富士男）

株式会社エフエムやつしろ 様

（代表：代表取締役社長 吉住 一郎）

株式会社エフエム小国 様

（代表：代表取締役社長 河津 和明）

天草ケーブルネットワーク株式会社 様

（代表：代表取締役 堀田 英史）

長年にわたり熊本県下のラジオ放送局が共同制作して同時放送する「防災・命のラジオ」を通じ、発災時などにおけるラジオ放送の有用性の理解促進に取り組む、地域住民の安心・安全の向上に多大な貢献をされました。

RKB毎日放送株式会社 様
（代表：代表取締役社長 佐藤 泉）
九州朝日放送株式会社 様
（代表：代表取締役社長 和氣 靖）
株式会社エフエム福岡 様
（代表：代表取締役社長 光富 彰）
株式会社CROSS FM 様
（代表：代表取締役社長 坂田 隆史）
ラプエフエム国際放送株式会社 様
（代表：代表取締役社長 高田 洋一）
日本放送協会福岡放送局 様
（代表：局長 傍田 賢治）

長年にわたり福岡県下のラジオ放送局が共同制作して同時放送する「ライフサポーターあなたを守る防災ラジオ」を通じ、防災意識の高揚に努められ、地域住民の安心・安全の向上に多大な貢献をされました。

情報通信月間表彰受賞者（2個人・3団体）

井上 英幸 様

（一般社団法人九州テレコム振興センター 主席研究員）

地域情報化アドバイザーや地域オープンデータ推進事業における地域メンターとして、多くの自治体の課題解決や地域振興のための助言を行うなど、地域情報化に多大な貢献をされました。

星合 隆成 様

（代表：学校法人君が淵学園崇城大学 IoT・AI センター長、情報学部教授）

熊本から日本全国に向けたDX推進を目的とするDX from KUMAMOTOの設立に尽力し、人材の育成を積極的に取り組み、管内のDX推進と人材育成に多大な貢献をされました。

長崎県立佐世保工業高等学校 様

（代表：校長 山口 朋之）

長年にわたり学校教育を通じ情報通信社会を担う工事担任者の育成及び輩出に尽力し、広く電気通信の発展に多大な貢献をされました。

熊本ソフトウェア株式会社 様

（代表：代表取締役会長 足立 國功）

サイバーセキュリティの推進及び周知広報に尽力するとともに、一般社団法人熊本県サイバーセキュリティ推進協議会の事務局としてコンピュータ犯罪の防止に協力することにより、高度情報社会の発展に多大な貢献をされました。

株式会社ケーブルワン 様

(代表：代表取締役社長 大野 裕志)

長年にわたり地域に根差すケーブルテレビ事業者としての使命を鑑み、地域における防災情報の発信を効果的かつ積極的に実施し、地域住民の安心・安全の確保に多大な貢献をされました。

「情報通信の安心安全な利用のための標語」九州総合通信局長賞(学校部門)

福岡市立照葉中学校 様

(代表：校長 殿元 裕介)

標語『一度の投稿 一生消えない あなたのタトゥー』

「情報通信の安心安全な利用のための標語」の公募において、安心安全な利用に関わる顕著な活動をされるとともに優秀な作品を創作され、学校における児童生徒の安心安全と情報通信の健全な発展に多大な貢献をされました。

◎九州電波協力会長表彰

表彰受賞者(1個人・3団体)

牛島 和夫 様

(国立大学法人九州大学 名誉教授)

長きにわたり九州受信環境クリーン協議会会長としてテレビ・ラジオ受信障害の原因調査とその対策などを指導し、管内の受信障害対策の推進に尽力するとともに、中央協議会への参加を通じ全国の受信障害対策に多大な貢献をされました。

福岡県立福岡工業高等学校 様

(代表：校長 市川 仁士)

多年にわたり無線従事者国家試験において生徒の受験拡大と資格取得の促進に積極的に取り組むなど、多数の無線従事者を輩出し、情報通信を担う人材の育成に多大な貢献をされました。

宮崎中央農業協同組合 様

(代表：組合長 栗原 俊朗)

西日本電信電話株式会社宮崎支店 様

(代表：支店長 桑畑 秀哉)

施設園芸分野においてIoTを活用した重油タンクの残量センサーを導入した遠隔でのリアルタイム測定などの実現により、地域社会が抱える労働人口の不足問題に取り組み、施設園芸分野の高度化ならびに電波の普及拡大に多大な貢献をされました。